



発行所
西原町役場
〒903-01
西原町字嘉手苅112番地
電話 (09894)-5-4533
印刷
栄光堂印刷

町の世帯・人口	
(昭和58年5月末現在)	
世帯数	4,808世帯
人口	18,488人
男	9,327人
女	9,161人
5月の人口移動	
出生	31人
死亡	2人
転入	154人
転出	89人
婚姻	9件
離婚	0件

待望の西原東小体育館落成 記念式典盛大に行われる

西原東小学校(与那嶺浩校長)の創立三周年と体育館兼講堂の落成を祝う記念式典が、六月四日午後二時から同校体育館で父兄はじめ関係者約三百名が出席して盛大に行われた。

体育館兼講堂は、総工費一億五、三二〇万円、面積一、〇四九平方メートル。同館の特長は、①屋根が従来のアーチ型から長尺切妻型で屋根からの採光、通風(電動

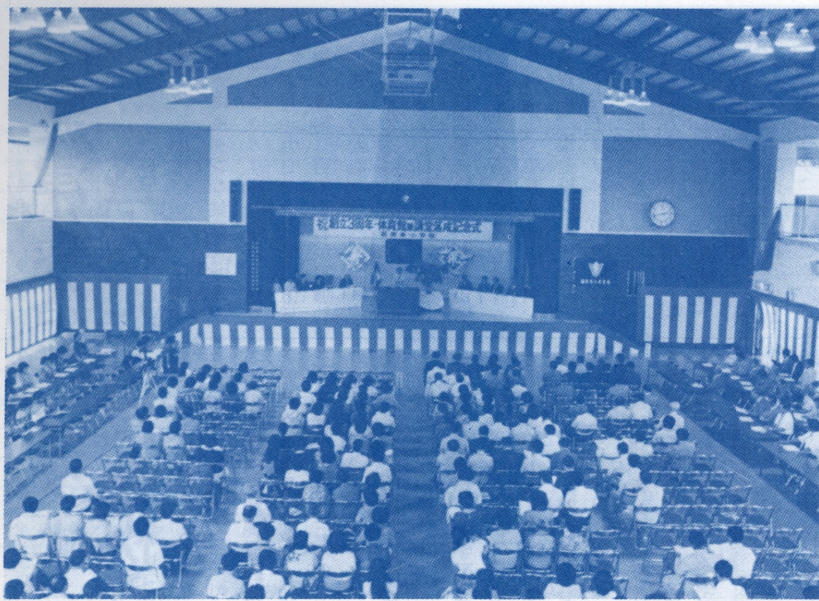
窓)を取り入れた②電気電動により屋内電気照明の電球の取り替えが容易になった③バスケットリングが一部電動④壁に高さ一・九メートルのアルミサッシュを取り付け採光をした⑤二階三階の普通教室から体育館に渡り廊下で結ばれ便利であるなどが上げられる。文部省の基準面積をはるかに上回る規模で構造、機能、管理面からも非常にすぐれた近代的な設計がなされている。

坂田小新增改築校舎落成 中庭、渡り廊下取り入れる

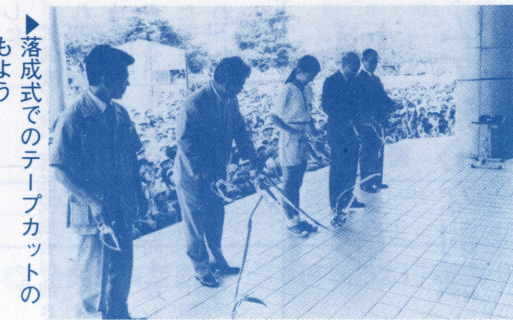
坂田小学校(宮里英詳校長、児童七二二名)の新增改築校舎の落成式が、六月二十日午前九時から全校児童、教職員、町長、PTA役員、教育委員会職員、工事関係者などが出席して行われた。

式では、校長あいさつ、工事関係者への花束贈呈、宮平町長あいさつ、小川教育長あいさつ、稲福PTA会長あいさつ、波照間美家児童会長のよろこびのことばなどがあり、その後、町長、校長、教育長、PTA会長、児童会長の五名によってテープカットが行われた。しばらくして児童代表を先頭に児童達が新校舎に入り「わーすごい、すばらしい」を連発しはしゃいでいた。

新校舎は、廊下にワークスペース(語り合いの広場)を取り入れたのが特長で休み時間には四メートル巾の廊下で遊んだり腰掛けを並べて話し合いができるようになっている。また渡り廊下で四棟の



▲西原東小学校創立三周年と体育館の落成を祝う記念式典に関係者約300名が出席し賑わった。



▶落成式でのテープカットの様子

平安恒政助役、照屋寛吉中頭教育事務所長、親泊輝武町議会議長、仲宗根英輝町教育委員長、松田正精西原小学校長などから祝辞があった。児童代表あいさつは源河順也君(児童会代表)が「東小校は、夢のある楽しい学校です。」と力強く述べた。

最後に呉屋厚雄西原東小PTA会長から謝辞を受けて式典は終わったが、引き続き祝賀会が催され遅くまで賑わった。

それから式典で期成会、学校PTA、町からそれぞれ功労のあった会社及び個人に感謝状が手渡された。合わせて会社十三社、個人十二名に贈られた。

総工費は二億八、三三三万円で延べ面積一、八九九平方メートルに普通教室八、図書室一、特殊教室三、教具室五、準備室三が間取られている。今回の二棟の校舎建築により坂田小から老朽校舎がなくなり、ピカピカの校舎で一年生三クラス、二年生三クラス、三年生一クラス、特殊学級などが授業を受けることとなった。

西原東小 校歌制定される 作詞は親泊輝昌先生

西原東小学校では、開校以来校歌がなかったため、児童、職員はじめ父兄からその制定を望む声も高く、今年二月から本町字小那覇出身で校区の大先輩である親泊輝昌先生(元与儀小学校長)に作詞を依頼していたが、四月にその歌詞ができた。

作曲はこれからだが、現在、琉球大学の中村透音楽科助教授に作曲を依頼しているところであり、今年の七月までに作曲がなされ、今年の運動会には、児童達が、校歌斉唱ができるものと期待されている。

大がかりなクリーン作戦展開 道路排水愛護デー

道路排水愛護思想を高め美しい自然と住みよい生活環境を守ろうと一町主催の第二回道路排水愛護デーが六月五日と八日に行われた。

五日は町内各区で区民が出て行政区内の道路、排水、公園などの草刈清掃と空カン空ビンの収集作業が行われた。また、八日は雨天の中、小那覇の産業道路、小波津川、我謝海岸、養豚団地前海岸、徳佐田川、幸地川などの周辺六ヶ所で事業所、各種団体、町役場などから約三百六十名が参加して大がかりなクリーン作戦が展開された。各班とも草刈清掃が主な作業であった。

産業道路では、草刈り作業のか街路樹トックリモドキ百本の植樹、空カンなど燃えないゴミの収集が行われた。海浜では、空ビン、空缶、ガラス破片などの燃えないゴミの収集が行われ、海岸線沿いはみちがえる程きれいになった。刈り取られた草は、中部製糖工場跡広場に大型車で運ばれ後日焼却されることとなった。



▶産業道路での作業風景



▶幸地川周辺での草刈り作業

尚、親泊先生作詞の西原東小学校校歌は次の通り、

◎西原東小学校校歌

一、東雲明けて 朝日さす
西原平野に地を占めて
自主創造の旗掲げ
そびえて立てる校舎あり
これぞ 我等の学舎
ああ麗しき 東校

二、前に秀嶺連玉を
後に高き疏大を
仰ぎ望みて先人の
遺業遺徳を偲びつつ
日々にいそしむ学友五百
ああ清新の東校

三、花と緑にかこまれた
学びの庭にすくすくと
伸びゆく校木樟は
我等の理想示す如
永久に栄行く姿あり
ああ明朗の東校

ゴミは、燃えるものと燃えないものを分別して出しましょう。
分別しないとゴミ処理工場の焼却炉の故障の原因になります。

小波津集落センター 盛大に落成を祝う



▲小波津集落センター落成を迎え、町内外から250名の関係者が集まり盛大に祝賀式典。

小波津にモダンな集落センター（鉄筋コンクリート造平屋）が完成し、六月十九日午後三時、区民及び関係者約二百五十名が参加して落成式が行われた。

このセンターは、地域のコミュニティ施設として小波津農村振興会（小波津善一会長）が総工費五、〇二五万円を投じてできたもの。小会議室、事務室兼図書室、料理講習室、集会場、ステージ、ホール、トイレなどが間取られ、非常に近代的な施設である。延面積三五五平方メートルと町内で一番広いコミュニティ施設。敷地は、小波津公民館の隣で面積七〇一平方メートル、センター前に広々とした遊び場があり、静かで最高の立地環境である。

この事業は、沖縄県農業構造改善緊急対策事業として国庫補助三、三五〇万円（三分の二補助）、町補助一〇〇万円をもち、部落資金、字民負担金、寄付金などで完成した。

いろんな研修会や学習会の場として利用されるほか、敬老会なども行うことができ、新たなコミュニティ形成を図る場として期待されている。

落成式は、地元の小波津弘行さんから経過報告が行われた後、小波津善一振興会長からの式辞、感謝状贈呈（工事関係者、用地取得協力者、字章デザイナー、篤志寄付者へ）、宮平町長、親泊町議会の祝辞、糸数盛仁振興会副会長の謝辞があった。

式辞で振興会長は「今後、この集落センターを農村振興のための講習会、研修会、発表会、集会、文化活動等市広く活用し、皆さんのご厚情に報いたい」とあいさつした。

式典終了後、落成祝賀会が催され、飲み物やオードブルを囲み、地元婦人会、子供会、老人クラブ、青年会、壮年会などが趣向を凝した余興を観覧しながら遅くまで賑わった。

社会教育 功労者、団体を表彰 振興大会

シンポジウムで熱心な討議

地域に根ざした社会教育をどう進めたいかをテーマとした町教育委員会主催の社会教育振興大会が五月二十二日午後一時から中央公民館で関係者約二百人の参加の下に開かれた。

テーマに基づいて①青少年健全育成と地域活動の連帯性を考える（パネラー：弓削次男南部農林高校教諭、玉寄哲永県子供連合会長）②地域づくりと生活を守る団体活動はどうあればよい（同大城静子町婦人会長）③青年の生活を高めるために団体活動をどう進めるか（同喜屋武政男町青年会代表）④生涯学習における施設利用をどのようにしたらよい（同比嘉盛加県社会教育主事）の四点についてシンポジウム形式で一人一人の講演が行われ、熱心な討議が行われた。

大会では、そのほか社会教育に功労のあった個人七人と六団体の表彰、宮平町長と池原県社会教育課長からの来賓祝辞が行われた。最後にアトラクションとしてカンフー（我謝ワンパク子ども会）、花の盆踊り（嘉手苺子ども会）、長寿音頭（老人クラブ）などが飛びだし大会に花を添え賑わった。尚、今回表彰された方々及び団体は次の通り

▲社会教育功労者 金城澄（町婦人会、町老人クラブ）、玉那覇馨（町老人クラブ）、親泊輝武（西原中PTA）、翁長正吉（町スポーツ少年団）、玉寄徹二（町体育指導員）、新川雅博（西原小PTA）※（一）内は推薦団体名

▲社会教育優良団体 西原小PTA、わんぱく子ども会、幸地スポーツ少年団、小那覇青年会、棚原婦人会、棚原老人クラブ

小波津、字章を制定

呉屋博一さんの作品に決まる

小波津では、小波津集落センターが落成したのを記念して部落の融和を図るために字章制定を行った。この記念事業は、地元の小波

津弘行さん（那覇地方検察庁勤務）の提唱により進められた。

部落の方々から広く作品を募集し、応募した十七点の作品を部落の幹部十数人が審査し五月十九日に字章が決まった。

字章に採用されたものは、小波津一五六番地の呉屋博一さん（一九才、学生）の作品（写真）で小波津のイメージにぴったりの秀作である。

字章は、伝統芸能組踊りの「向立（こうだて）」を図案化し字民が協力して建設した円満な農村集落の中に「小」、「ハ」、「つ」を力強く調和させ今後の繁栄を象徴するものである。



交通安全で明るい町づくり

町交通安全推進協議会終わる

町交通安全推進協議会（宮平吉太郎会長）の定期総会が、六月一日午後三時、町役場会議室で関係者四十五名が出席して行われた。

総会では、宮平会長あいさつの後、昭和五十七年度事業報告並びに決算報告の承認、昭和五十八年度事業計画並びに予算が審議承認され、また役員改選も行われた。

昭和五十八年度事業計画では、七月、八月に夏の交通安全県民運動、九月に夏の交通安全県民運動、十二月、一月に年末年始の

全国交通安全県民運動、二月に交通安全座談会などが行われ、交通ルールをよく守り安全で明るいまちづくりが推進されるものと期待されている。

第42回国民体育大会

テーマ、スローガン募集要項

一、趣 旨

昭和六十二年に沖縄県で第四十二回国民体育大会が開催されます。この大会は、全国一巡のしめくくりの大会であり、また、復帰十五周年を記念する大会でもあります。

この意義ある沖縄国体を県民総参加のもとに成功させるためだれにでも親しまれ、本県にふさわしい、大会の「テーマ」と「スローガン」を募集します。

二、応募資格
沖縄県内に住んでいる者及び県外に住んでいる本県出身者

三、作品の内容

テーマ
本県の特徴ある風土、文化などを端的に表現し、沖縄国体にふさわしいもの。

スローガン

この大会の趣旨や県民の望みを簡潔に表現し、沖縄国体にふさわしいもの。

四、応募方法

（一）官製はがき一枚につき「テーマ」、「スローガン」いずれか一点を縦書きとし、簡単な説明を付して下さい。

先催県の例

回数	開催県	テーマ	スローガン
三七	島根県	くにびき国体	このふれあいが未来をひらく
三六	滋賀県	びわこ国体	水と緑にあふれる若さ
二六	鹿児島県	太陽国体	明るくたくましくあふれる

寄付お礼

このほど棚原一四八番地の伊波貞子さんから古稀祝を迎えたお礼に教育のために役立てて下さいと

次の学校に寄付がありました。

◎西原小学校へ十万円
◎西原東小学校へ十万円
この紙面をかりて伊波さんのご厚意に対し感謝申し上げます。

会長に宮平吉太郎町長、副会長に親泊輝武町議会議長、平安恒政助役、幹事に町内各種団体から五十一名、役職十七名、監事三名、書記兼会計一名が選ばれた。

（二）住所、氏名、年齢、性別、職業、勤務先（又は学校名、学年）及び電話連絡先を記入して下さい。

（三）応募作品は一人何点でも結構です。

四作品は、自作未発表のものに限りです。

（四）送り先及び問い合わせ先
〒九〇〇 那覇市旭町一番地 冲配ビル十一階
第四十二回国民体育大会沖縄県準備委員会事務局
TEL（〇九八八） 六六一二六〇〇

五、募集期間

昭和五十八年七月一日から同年八月十日まで（締切日消印有効）

六、発表

最優秀作品は、昭和五十八年十一月（予定）本人に通知するほか、県広報誌等を通じて発表します。

七、ほう賞

最優秀作品（各一点）
賞状及び賞金三万円（小・中学生にあつては三万円相当の賞品）。

昭和57年度町一般会計歳入歳出予算執行状況

(歳入)				(歳出)			
単位：千円				単位：千円			
款	予算額	収入額	執行率	款	予算額	支出額	執行率
1. 町 税	786,938	742,692	94.4%	1. 議 会 費	71,636	70,110	97.9%
2. 地 方 譲 与 税	56,498	58,629	103.8	2. 総 務 費	411,710	320,540	77.9
3. 娯 楽 施 設 利 用 税	23,635	24,947	105.6	3. 民 生 費	429,328	420,509	97.9
4. 自 動 車 取 得 税 交 付 金	8,936	10,385	116.2	4. 衛 生 費	107,677	104,779	97.3
5. 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	328	328	100.0	5. 労 働 費	3	0	0
6. 地 方 交 付 税	767,483	782,454	102.0	6. 農 林 水 産 業 費	261,363	188,428	72.1
7. 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	877	877	100.0	7. 商 工 費	4,804	4,791	99.7
8. 分 担 金 及 び 負 担 金	46,922	45,748	97.5	8. 土 木 費	970,576	365,293	37.6
9. 使 用 料 及 び 手 数 料	6,422	7,248	112.9	9. 消 防 費	146,950	136,500	92.9
10. 国 庫 支 出 金	1,235,561	777,028	62.9	10. 教 育 費	1,309,519	820,877	62.7
11. 県 支 出 金	316,938	226,436	71.4	11. 災 害 復 旧 費	16,312	8,106	49.7
12. 財 産 収 入	84,286	86,767	102.9	12. 公 債 費	242,997	238,001	97.9
13. 寄 附 金	29,447	29,446	100.0	13. 諸 支 出 金	1	—	—
14. 繰 入 金	2	0	0	14. 予 備 費	3,476	—	—
15. 繰 越 金	113,005	113,006	100.0	歳 出 合 計	3,976,352	2,677,934	67.3
16. 諸 収 入	121,774	119,789	98.4				
17. 町 債	377,300	9,700	2.6				
歳 入 合 計	3,976,352	3,035,480	76.3				

告示13号 昭和五十七年度下半期
西原町財政事情書
地方自治法第二四三条の3第一
項および西原町財政事情書の作成
及び公表に関する条例に基づき、昭
和五十七年度下半期（昭和五十八
年三月三十一日現在）の財政状況
を公表します。
昭和五十八年六月二十九日
西原町長 宮平吉太郎

昭和57年度水道事業特別会計収入支出状況（昭和58年3月31日現在）

収 入	予算額	2億8,999万7千円
	収入額	2億8,777万5千円
執行率（99.2%）		
支 出	予算額	2億8,028万3千円
	支出額	2億6,673万円
執行率（95.2%）		
収 入	予算額	1億2,270万2千円
	収入額	1億2,270万円
執行率（100.0%）		
支 出	予算額	1億4,340万3千円
	支出額	1億3,456万9千円
執行率（93.8%）		

町 債 の 償 還 状 況 58.3.31

借 入 額	元 金 償 還 額	元 金 未 償 還 額	償 還 率
28億5,300万円	1億8,888万6千円	26億6,411万4千円	6.62%

財 産 58.3.31

土 地	建 物	基 金
35万6,876㎡	2万7,057㎡	8,606万4千円

有 価 証 券	出 資 に よ る 権 利	車 輛
531万2千円	1,521万7千円	28台

企 業 債 の 償 還 状 況

借 入 額（円）	元 金 償 還 額（円）	元 金 未 償 還 額（円）	償 還 率
2億9,792万3千	1,897万5千	2億7,894万8千	6.37%

国民健康保険税負担額と保険給付費 58.3.31

平均被保険者世帯（者）	一世帯当り保険税額	一世帯当り保険給付費
2,163（7,547人）	79,129円	18万3,058円

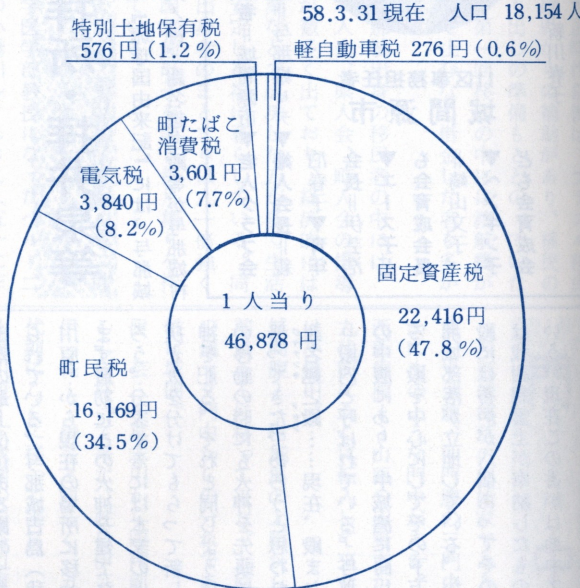
昭和57年度町国民健康保険特別会計歳入歳出予算執行状況

(歳入) 単位：千円				(歳出) (58.3.31現在) 単位：千円			
款	予算額	収入額	執行率%	款	予算額	支出額	執行率%
1. 国民健康保険税	148,814	141,766	95.3%	1. 総 務 費	55,845	25,401	45.5%
2. 使用料及び手数料	109	174	159.6	2. 保 險 給 付 費	445,913	395,954	88.8
3. 国 庫 支 出 金	342,093	264,717	77.4	3. 老 人 保 健 拠 出 金	8,696	0	0
4. 県 支 出 金	140	0	0	4. 保 險 施 設 費	1,401	549	39.2
5. 財 産 収 入	426	467	109.6	5. 公 債 費	1,376	1,376	100.0
6. 繰 入 金	12,001	12,000	100.0	6. 諸 支 出 金	541	443	81.9
7. 繰 越 金	24,074	24,074	100.0	7. 予 備 費	16,078	—	—
8. 諸 収 入	2,193	2,467	112.5	歳 出 合 計	529,850	423,723	80.0
歳 入 合 計	529,850	445,665	84.1				

昭和57年度老人保健特別会計予算執行状況

(歳入) 58.3.31				(歳出)			
款	予算額	収入額	執行率	款	予算額	支出額	執行率
1. 支払基金交付金	15,847	0	0%	2. 医 療 諸 費	22,622	0	0%
2. 国 庫 支 出 金	4,515	4,238	93.9	3. 諸 支 出 金	3	0	0
3. 県 支 出 金	1,128	1,125	99.7	歳 出 合 計	22,625	0	0
4. 繰 入 金	1,128	0	0				
5. 繰 越 金	1	0	0				
6. 諸 収 入	6	0	0				
歳 入 合 計	22,625	5,363	23.7				

町民一人当り町税負担額



※固定資産税、町民税、電気税、特別土地保有税は法人分も含む。



昭和58年度固定資産税第二期納期は7月31日です。
早目に納付下さるようお願い致します。

でに計三十八世帯が入居してせむつる団地を形成した。

西原小学校が二十一年六月に与那城三十四番地の二万五三十一平方メートルの敷地に設立され、また、四十八年三月に西原保育所（敷地一、一一〇平方メートル）が完成し、五十四年五月に謝名越原の二万六、七三二平方メートルの敷地に中央公民館及び社会福祉センターが落成、更に与那城児童公園（敷地二、二〇四平方メートル）が五十六年五月に開園し、教育環境、生活環境とも非常に恵まれた地域である。

地理的条件にも恵まれているため、近年町内外からの同区への転居転入者も多く活況に満ち新しい地域づくりにスムーズに進められている。

十一区は、本町の南部に位置する地域で東西に七五〇メートル、南北に六五〇メートルの区域である。北側に九区、東側に十区、南側に十二区および十三区、西側に十四区がそれぞれ接し、字与那城を主体に字我謝の一部地域により形成されている。

この地域は静かな住宅地域で旧役所跡付近を中心に住宅などが連なり、最近はこの地域の西側にある西原ハイツで住宅建設が盛んに行われている。

また、この地域に立地する主な公共施設は、西原小学校、中央公

十一区||与那城

民館、社会福祉センター、西原保育所、与那城児童公園がある。

城は沖縄式の訓読で「グスク」又は「グシク」とよんでいる。昔、群雄割拠の時代においては、各閭切に城塞を構築して本拠とし、閭切の主邑（むら）を一樣に城村と称えた形跡すらある。従って城が地名の構成分子となっている事が多く、ほとんど各閭切に分布しているといっても良い位である。

ここに城間源市氏(十一区々長)の「与那城の起源」という文書がある。で紹介する。

「与那城部落は与那城タマター（我謝上又川原）に始まり桃原と隣接していた。桃原部落は桃原ユーヤともいう。その頃、両部落には地すべりが多く、多大な被害をこうむり、桃原部落は現在の所に移転し、与那城は与那城古島に移転したという（我謝白川原）。

『琉球国由来記』には、与那城
火ノ神、謝名越之殿等が与那城村

『琉球国高究帳』（一六三〇年代）によると与那城村と我謝村は対として記載されている。そのことから、現在の場所に移ってきたのは一六三〇年代以前だろうと思われる。

の祭処として載っている。そのほかに与那城部落が拝んでいる祭処としてフジュンガー、ミチン嶽、エボシ川嶽、御通し嶽、地頭火神等がある。以下、それぞれの祭処について詳しく述べてみる。

部落の最上位にある殿の一角に祭られてゐる。与那城古島（我謝白川原）から現在の場所に移つた時、まず最初にこの火神を建てたであらう。分家するには本家の火神の灰と火を分けてもらつて新しく火

An aerial photograph of a school campus. A large, rectangular, light-colored field, likely a sports field, is the central feature. To its left is a long, multi-story building. To its right is a large, white, rectangular building with a flat roof. The campus is surrounded by numerous smaller buildings, mostly two or three stories high, with flat roofs. A road or path runs along the top edge of the campus. The surrounding area appears to be a mix of residential and commercial buildings.

西原町においては、字と那城（与那城村）と字幸地（城村）の二ヶ字が「ゲシク」のつく村である。おそろく、この二ヶ字のうちどちたで、りかが西原間切の主邑であつたであらう。

『歴代宝案』によると
 大那是古（尚真代）、大那須（尚

那原との仲が悪く、そのしわよせが与那城にふり掛かり生活も不安定をきわめたという。ある時は、与那原の若者がおそい、部落全体が多大の被害を受けたともいわれる（年代不明）。そのため我謝の協力を得て現在の場所に移り、明治の頃には七十五戸位に発展し

トル▼人口密
度Ⅱ四、一三
一人▼耕地面
積Ⅱ二・三
三ヘクタール
▼さとうきび
生産Ⅱ一、〇



11区事務担任者
城間源市

▼老人クラブ会
▼婦人会長Ⅱ親
泊春子▼青年
会長Ⅱ伊芸浩
▼エース子ど
も会育成会長
Ⅱ崎山文子
▼ペンギン子
ども会育成会

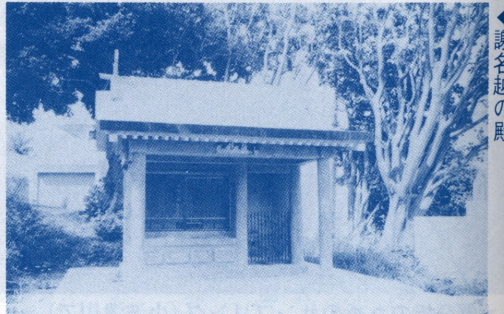
口、殿内と呼ばれている。与那城の中腹にあり、中城湾に面している。殿を中心にしてその下方に与那城部落が立地している。かつて殿には香炉が八個あってその香は我謝親雲上が奉納したものだという。現在この香炉は地中に埋つ

(次面につづく)

わたしたちは、だれにも親切にし、互いに助け合いましょう（町民憲章から）。

謝名越ノ嶽……与那城森の北端にある。我謝・与那城両部落の今帰仁への御通しの御嶽である。現在ここに町中央公民館が建っているため中央公民館敷地の隣(北寄り)に移転している。

地頭火の神……殿の上部に祭られている。地番でいうと与那城四〇番地である。我謝・安室・桃原・与那城の神人達が拜んでいた。上ノ御願所……現在の西原ハイッ内にあったというが、場所は定かでない。おそらくそこが与那城の御嶽ではないかと思われる。戦前「上ノ拜ミ」といって、まずそこを拜み、次に地頭火の神を拜んでから、殿において我謝ノロらが旧暦六月十三日から二十五日までユイグムイ(世籠り)したという。三津武嶽……連玉森の東側ふもとに小高い丘がある。そこをみちん



謝名越の殿

岳というまた俗名では与那城モグワとも呼ばれている。ここに尚寧王の娘の墓がある。フジユンガー……我謝入口バス停の近くにある井戸泉である。以前はそこの水で初ウビをした。中

部落行事

戦前、神事の御願以外には字行事はなかった。綱引きや村芝居等は隣り部落の我謝へ参加した。戸数三〇戸、人口一五〇人ぐらいの部落だった。他部落のようにな綱引きや村芝居はできなかった。しかし、旧八月に行われる唯一の字行事として「三津武嶽ウガミ」がある。「慶長十四年(一六〇九)の島津侵入後、尚寧王とその家族が捕虜として薩摩に連れていかれた。尚寧王の娘もその一人であった。その後、王も家族も帰国を許された。その娘は与那原近くにあり、踊り、歌うのである。中

移民

町内でも有数の移民部落である。明治時代七十六戸あったのが、移民ブームの昭和十年頃には半数の三十七戸ほどに激減した。移民と

してハワイ・ペルー・ブラジル等へ出て行った結果である。現在、ハワイ・ペルー・ブラジル等へ字と同数の四〇五〇人以上が移住している。字の公民館を建設したとき、資金はこれから海外移住者の寄付を仰いだ。明治末期から昭和初期にかけて十三家族がハワイへ移民した。その後、ペルーへ十八家族・ブラジルへ十三家族・南洋へ三家族というふうになり、移民者がいない世帯はないといわれるほど、移民熱がたかまった。その理由として三つほど考えられる。

一、耕作地が糖業改良事務局(明治四一年)用地として買収されたため。
二、先輩や親戚等からの呼寄せが多かった。
三、その当時、全県下で異常な移民ブームであった。

大正時代以後は、ブラジル移民に政府からの補助があり、移民の送り出しの準備もとのついていたが、第一回移民の中には渡航費がなくて止むく借金した者も多かった。与那城出身の移民者の中には、日本人会、県人会、町人会の指導者が数多く出ており、経済的には商業などで成功した方が多く生活も安定し裕福に暮らしている。同字出身者のまともには人一倍強く各国で頼母子を開き毎月集りを持っている。

門中

与那城部落の創始家である儀保腹、米須腹、仲門腹の三門中のほかに次のような門中がある。
西新屋腹……山原の辺野古から八代前にここに転入して来た。姓は小橋川。
城間腹……宮城島の上原から八代前にここに移って来た。上原部落の儀マタ門中からの分れである。姓は城間。
伊芸……具志川から四代前からここに移って来た。姓は伊芸。
伊礼……伊芸と同じく、五・六代前にここに移って来た。
小橋川腹……我謝の読谷山腹からの分れである。十代以上前に与那城に移って来た。姓は小橋川。

老人 合同スポーツ大会賑わう

老人と婦人が一堂に集い、スポーツを通してお互いの理解と親睦を深め、健康増進に役立てようとして第一回町老人婦人合同スポーツ



老人の集団演技

大会(町老人クラブ、町婦人会共催)が五月二十九日午前九時半から西原中グラウンドで盛大に行われた。大会には老人クラブ婦人会の会員合わせて約千人が参加し賑わった。

集団演技(踊り)としてさとうきび音頭、うるま島、幼なじみ、長寿音頭(老人クラブ)、風もさわやか、三六五歩のマーチ(婦人会)、祝節、西原音頭(老人婦人会)などが披露され、踊りのデパートにも年々広くなり、日頃の練習の成果もあって上達してきた。そのほか、玉入れ競争、恋人さがし、千変万化、リレー、親子目かくし競争、仲良しボール運びなどの競技が行われ参加者全員が久々にいい汗をかきさわやかで有意義な一日を過ごした。

JL 連絡協議会 結成される

五月二十七日午後六時、中央公民館で子どもと大人のパイプ役として子ども会活動の充実をはかるために西原町子ども会JL連絡協議会が結成された。会員は

日午後六時、中央公民館で子どもと大人のパイプ役として子ども会活動の充実をはかるために西原町子ども会JL連絡協議会が結成された。会員は日午後六時、中央公民館で子どもと大人のパイプ役として子ども会活動の充実をはかるために西原町子ども会JL連絡協議会が結成された。会員は



新会長に城間ゆかりさん選出

町子連 定期総会終わる

町子ども会育成連絡協議会(上亀直一会長)の定期総会(写真)が、五月二十七日午後七時、中央公民館で関係者約四十名が出席し



町子連定期総会

OBは五区二連勝

家庭婦人は六区二度目の優勝 OB家庭婦人バレーボール大会

バレーボールを通して日頃の運動不足を解消し健康増進に役立てようという町体協(平安恒政会長)主催の第五回OB・家庭婦人バレーボール大会(写真)が五月十五日午前九時から西原小、西原中の両体育館で行われた。OBは、三十五歳以上の壮年男子で編成され十三チームが参加し



OBは五区二連勝

昭和五十七年度環境調査まとめ

町では、河川の水質、河川等の
 環境汚染状況を、水銀を大気調査は、硫黄酸化物を
 環境保全の行政指 それぞれ測定した。

を進めていこうと昭和五十七年度環境調査を行ったが、その結果がこのほどまとまった。資料採

H₇・二三ノ八・二〇、DO₇
O₈・八一・二PPm、BOD₇
は今年の二月一日、九日、十六日
調査結果を見ると水質では、P

地先四地点で採水された。底質が五地点、大気が四地点で資料が採取された。

C類型（水道三級）に類似しているが、徳佐田川中流（製パン工場排水）が有機排水の影響をま

水質調査は、PH、DO（溶存酸素）、BOD（生物化学的酸素要求量）、SS（浮遊物質量）、大腸菌群数を、底質調査はカドミ

にも受け、BOD＝一〇〇ppm
大腸菌群数＝二八万個（一〇〇ミ
リットル当り）で異常に高い値
を示し、DO＝三・九ppmの低

下を助長している。徳佐田川下流（徳佐田部落内）も $BOD \parallel 9.0$ (ppm)、大腸菌群数 $\parallel 49.0$ 万個 $SS \parallel 7.3$ ppm と高く有機質はほとんど浄化されずに下流まで流出している状況であり、汚染はひどい。

底質では、カドミウム $\parallel \bigcirc \cdot \bigcirc$ ppm、小那覇川河口で二四・四 ppm、南石油一・二キロメートル沖合で一五・九 ppm と賦存量（一 ppm）の二倍程度濃縮されており、稲国川中流では工場からの排水の影響を受けて鉛が濃縮された可能性もある。小那覇川河口については今のところ不明である。

またヒ素は、南石油一・二キロメートル沖合で二四・一 ppm

稲国川中流で九・四三 ppm、小
那覇川河口で七・三一 ppm、兼
久川河口で六・四二 ppmと賦存
量（五・二 ppm）を上回っていい
る。南石油沖合のヒ素の濃縮の
因果関係は不明である。

他方、大気の硫酸酸化物濃度は
沖繩三育小学校〇・〇八 ppm、
小波津公民館〇・一二 ppm、
我謝公民館〇・一一 ppm、西
原無線送信所〇・一一 ppmを示
し汚染度判定基準第一度（輕微の
汚染）〇・五〜一・〇 ppmに照
らし合わせても総体的に汚染はま
だまだ進んでないことがわかる。

第一表 町内河川の水質調査結果

分析項目 河川名	P H			D O (㎎)			B O D (㎎)			S S (㎎)			大腸菌群数 (個／100㎖)		
	55年	56年	57年	55年	56年	57年	55年	56年	57年	55年	56年	57年	55年	56年	57年
我謝川河口部	7.8	7.8	7.9	5.91	7.7	10.3	30.1	41.8	14.2	10.4	22.4	4.0	1.6×10^6	5.4×10^6	1.4×10^6
兼久川下流	7.8	8.4	8.0	4.99	9.3	12.2	58.4	15.7	14.9	22.7	181	11.4	9.2×10^5	5.4×10^5	8.4×10^8
小波津川下流	7.15	7.5	7.4	0.57	1.3	4.3	21.5	9.5	23.1	26.2	8.4	13.1	3.3×10^4	3.5×10^4	1.8×10^6
小那覇川河口	8.34	8.3	7.4	3.31	11.7	11.3	44.9	39.1	7.4	16.6	17.7	2.5	1.6×10^5	5.4×10^5	1.7×10^5
浜田川中流	7.57	7.7	7.3	5.07	1.0	0.9	8.3	5.5	2.6	2.4	3.1	1.3	4.9×10^3	4.9×10^3	4.6×10^3
稲国川中流	7.91	7.8	8.0	5.89	3.9	6.8	12.3	9.0	9.4	24.9	13.1	33.6	1.6×10^6	3.5×10^4	7.0×10^3
名護川中流	7.59	7.6	7.4	4.31	2.3	8.2	60.8	37.3	10.2	25.6	22.1	6.4	3.5×10^6	7.9×10^5	2.2×10^5
徳佐田川中流	8.15	8.1	7.4	4.03	9.8	4.7	53.8	34.3	90	19.6	13.5	73.0	1.7×10^6	1.1×10^6	4.9×10^6
森山川中流	7.29	7.8	7.7	4.26	4.5	9.0	66.4	173	3.2	282	49.7	3.3	2.4×10^7	1.3×10^6	3.3×10^4
C類型の環境基準	6.5以上～8.5以下			5 ㎎以上			5 ㎎以下			50 ㎎以下					

※説明 P H：水素イオン濃度

稲国川：掛保久、小那覇付近を流れる川

D O : 溶存酸素

名護川：幸地を流れる川

BOD：生物化学的酸素要求量

ppm : 百万分中の幾分であるかを示す分率である。

S S : 浮遊物質量

ある物質 1 kg 中に 1 mg 含まれると 1 ppm という。

浜田川：南西石油付近を流れる川

第二表 町内及び町近海域の底質調査結果

場 所	分析項目 年度	P b (ppm)			C d (ppm)			A s (ppm)			T-Hg (ppm)			C r V I (ppm)		
		55年	56年	57年	55年	56年	57年	55年	56年	57年	55年	56年	57年	55年	56年	57年
小波津川河口附近		4.34	7.04	9.96	0.07	0.049	0.07	3.53	5.15	5.42	0.03	0.01	0.01	ND	ND	ND
兼久川河口附近		4.56	4.85	8.36	ND	0.028	0.08	5.69	5.75	6.42	0.03	ND	0.02	ND	ND	ND
沖縄輕金属(株) 沿い 稲国川中流		23.5	29.1	23.0	0.18	0.436	0.22	13.2	5.69	9.43	0.16	0.05	0.05	ND	ND	ND
南西石油(株) 最終排 出口附近		5.88	22.0	15.9	0.06	0.192	0.13	10.5	12.1	24.1	0.05	0.01	0.04	ND	ND	ND
南西石油(株) 敷地 南側小那覇川河口附近		10.0	6.65	24.4	0.08	0.057	0.15	5.37	8.01	7.31	0.03	0.01	0.05	ND	ND	ND

※ND：不検出

CrVI：六価クロム

元素の地殻存在度

単位 \ 元素	Pb (鉛)	Cd (カドミウム)	As (ヒ素)	Hg (水銀)	Cr (クロム)
重量 ppm	12.5	0.2	1.8	0.08	100

二酸化鉛法による汚染度判定基準表

汚 染 度	$\text{SO}_3 \text{ mg/day} / 100 \text{ m}^2 \text{ PbO}$	評 価
汚 染 第 1 度	0.5 以上 1.0 未満	軽 微 の 汚 染

第三表町内各地点での大気中硫黄酸化物濃度の測定結果

(二酸化鉛法、単位： $\text{mg} \cdot \text{SO}_3/\text{day}/100\text{m}^2 \text{PbO}$)

測定場所	測定年度	54年度	55年度	56年度	57年度
西原無線送信所		0.111	0.155	0.138	0.110
我 謝 公 民 館		0.056	0.070	0.086	0.111
小 波 津 公 民 館		0.078	0.080	0.070	0.112
沖繩三育小学校		0.066	0.189	0.156	0.080

わたしたちは、**勤労感謝**の心を養い、物を大切にしましょう（町民憲章から）。

第三回町夏季テニス大会開催要項

- 一、日時 七月十七日午前八時半
- 二、会場 南石油テニスコート(主会場)、中央公民館テニスコート(予備会場)
- 三、主催 町体育協会
- 四、競技種目 一般男女シングルス及びダブルス
- 五、参加資格 町内に在住する者で
- 六、申込先 宮平スポーツ(電話五四六〇二)又は町協硬式庭球部役員
- 七、申込期限 七月十三日午後五時

第三回町軟式庭球選手権大会実施要項

- 一、日時 七月三十一日午前九時
- 二、場所 西原中テニスコート
- 三、主催 町体育協会
- 四、試合方法 男女別ブロックリーグ戦、決勝トーナメント
- 五、参加資格 西原町に本籍又は現住所を有するもので十八才以上の者
- 六、申し込み方法 町体育協会軟式庭球部上原拓也(五一三六五五)まで申し込み
- 尚、大会当日の午前九時までは付致します。参加申し込みはできただけペアで申し込み下さい。ペアのいない人は、大会本部で組合致します。

巡回行政相談所開設のお知らせ



行政相談委員 山岡清光

日時 七月十二日午前十時～午後四時
場所 西原町役場会議室
相談担当者 山岡清光行政相談委員
相談内容 道路、河川、農地、郵便、税金、社会福祉、恩給、登記、年金保険、公害、交通の業務などに対する苦情や相談を申し出て下さい。
※私人間の争いごとや政治問題になっているものは扱いません。
行政相談委員・山岡清光
字嘉手苅三二一
電話五一五四一

埋没不発弾の情報提供について

国、県、町では、不発弾による爆発事故を未然に防ぐ上で皆さんから情報を常時受付しています。もし、埋まっている場所を知っているとか、壕や川や池

町民憲章で 明るく豊かな 町づくり

- 一、わたしたちは、緑を豊かにし、美しいまちをつくりましょう。
- 二、わたしたちは、つねに学び、文化の高いまちをつくりましょう。
- 三、わたしたちは、だれにも親切にし、互いに助け合いましょう。

区対抗野球大会 八区が優勝

町体協(平安恒政会長)主催の各区対抗野球大会が六月十二日と

「わたしたちは、勤労感謝の心を養い、物を大切にしましょう。」
「わたしたちは、スポーツに親しみ、健康の増進につとめましょう。」
「わたしたちは、時間を守り、すすんでいさつをしましょう。」

知らないと損をする クリーニングオフ制度

クリーニング・オフ制度とは、消費者が営業所等以外の場所でする場合に、セールのスマン・外務員等の積極的勧誘により、自らの意思がはっきりしないままに契約の申込みをしたり、契約をしてしまったりすることが多いことから、消費者の保護するために設けられた制度です。

クリーニング・オフを行使するに当たっては次のことに注意しましょう。

(1) 日数の計算方法は、申込みの撤回又は契約の解除ができる旨を業者から知らされた(法令により書面に記載することになっています。)(日数(その日を含む。))であり、その期間内に書面で通知をすればよく、期間内に相手方に到達する必要はありません。

と法律、宅地建物取引業法によって一定の条件の下で定められているほか、生命保険業界などでも自主的に実施されています。

(2) 訪問販売等に関する法律の指定商品のうち、乗用自動車、消耗品であって政令で定められたものを消費した場合(この場合、書面によって告げられることになっています。)(及び代金を全額支払いかつ商品の引渡しがあったときは適用されません。

香典返し

このほど、次の方から香典返しがありました。

◎系数善昭さん(字小波津六番地)から故長男・善仁さんの香典返しとして町社協へ十万円、西原小学校へ三万円。

◎与那城盛弘さん(字安室五一番地)から故母・知念ウシさんの香典返しとして町社協へ五万円

◎添石美枝さん(字津花波二五番地)から故母・与那城カマドさんの香典返しとして町社協へ五万円。

◎城間正英さん(字内間六五番地)から故父・正俊さんの香典返しとして町社協へ十万円。

◎玉那覇一夫さん(那覇市識名八

この紙面をかりて五名の方々がご厚意に感謝申し上げます。

栄養素から見た食生活 1パーセントの大切さ

—カルシウム—

カルシウムと聞けば「骨や歯をつくる栄養素」とだけ答えるに違いない。実は、その実、その体内のカルシウムのうち、九パーセントまでが骨や歯になっています。

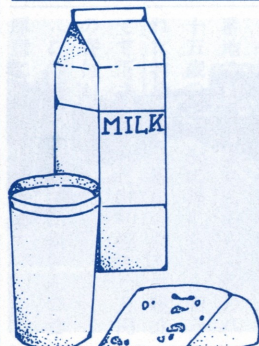
では、残りの一パーセントはどこにあるのでしょうか？ 実は、血液やリンパ液、細胞膜などに含まれていて、次のような大切な役割を果たしているのです。

- ① 血液を凝固させる。
- ② 神経の興奮を伝え、筋肉を収縮させる。
- ③ 酸素を体のすみずみに送り届ける。

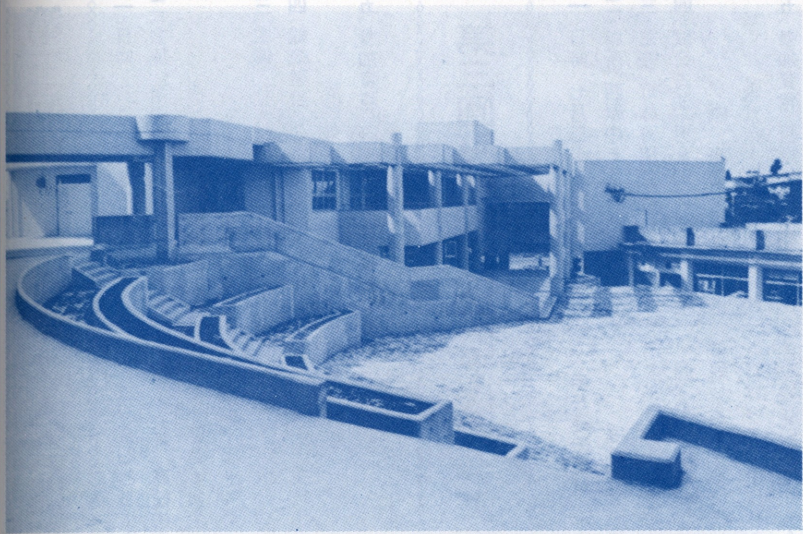
以上のように、カルシウムは骨や歯となつて蓄えられる一方、体内の大切な働きのために使われています。このため、血液中のカルシウムが不足すると、骨や歯に蓄えられているカルシウムが血

1日のカルシウム所要量		
乳児	400mg	
妊婦	1,000mg	
授乳婦	1,100mg	
60歳以上の男女	600mg	

※参考食品
牛乳 200ccには200mg、プロセスチーズ 100gには630mgのカルシウムが含まれています。



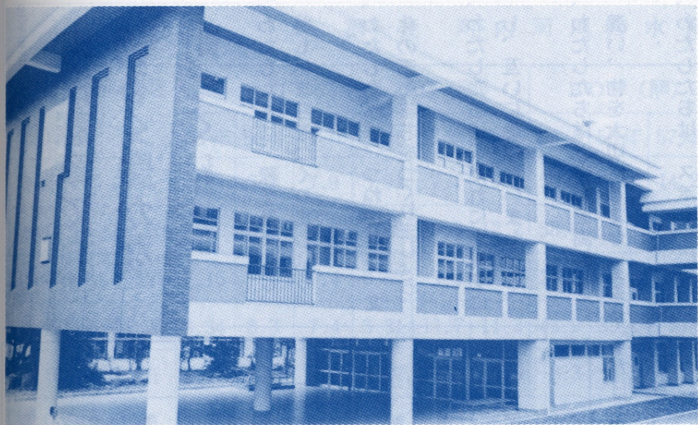
献本運動にご協力をお願いします。中央公民館図書室。



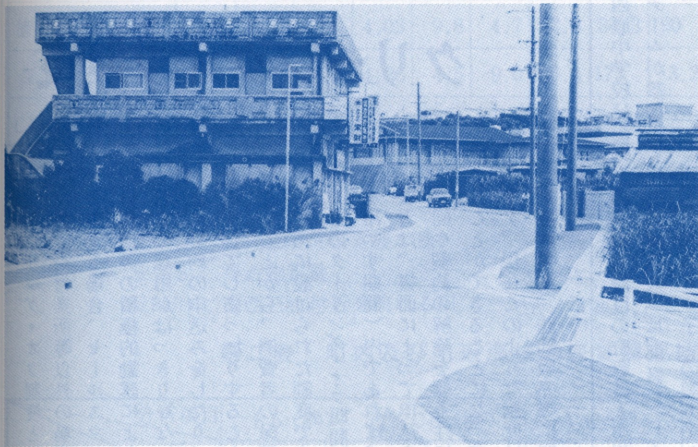
▲坂田小学校新增改築工事、総工費2億8,335万円、床面積1,899㎡、普通教室8、図書室1、教具室5、準備室3、家庭科教室1、理科教室1、図工教室1ができた。



▲西原東小学校体育館新築工事・校舎新增築工事、総工費は体育館1億5,320万円、校舎1億595万円、床面積は体育館1049㎡、校舎943㎡。手前が体育館で右側校舎四階に新增築校舎ができた。普通教室4、家庭教室1、音楽教室1、準備室1。



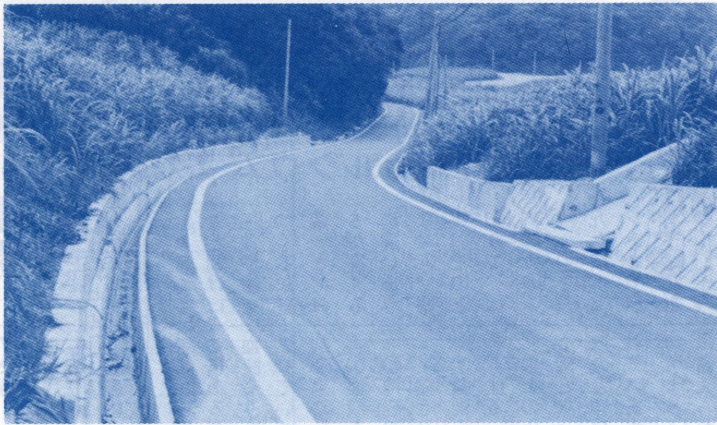
▲西原中学校新增改築工事、総工費2億6,250万円、床面積1,907㎡、普通教室12、特殊学級1、保健室1ができた。



▲与那城～呉屋線道路改良工事、総事業費1億2,613万7千円、延長510m西原庄送前から中央公民館前を通過して小波津川にかかる橋付近まで。

昭和57年度に完成した公共工事
着々と進む基盤整備

写真集



▲団体管池地区農地侵食防止事業、総事業費1億1,192万8千円 関連農道1,482m、水路工1,673mが完成。

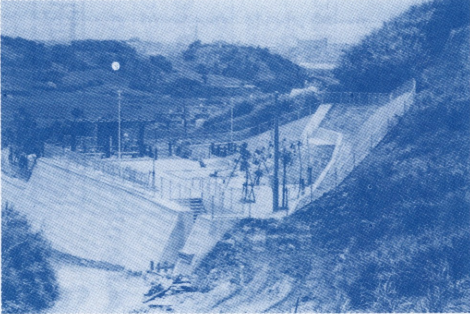


▲兼久川準用河川改修工事、総事業費4,200万円、延長276m、安室後原地内、旧更正川を約2倍に拡巾し、抜本的に排水整備。



▶翁長都市下水路工事、総工費一、八五〇万円、延長一四九・五m、翁長地内。

▶翁長児童公園工事、総事業費五、三〇〇万円、面積一、三二九平方m、四月二十三日開園。

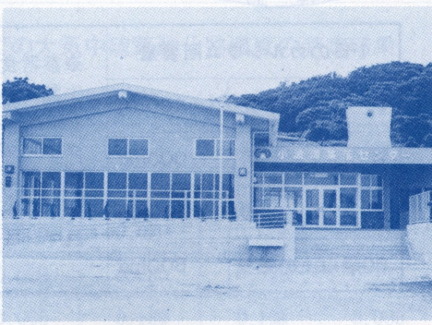


▶小波津児童公園工事総事業費六、八〇〇万円、面積二、八〇〇平方m、五月十四日開園。

▶派出所前通り道路改良工事、総工費一、四八〇万円、延長二〇三m西原小前から国道まで。



▶小波津集落センター建設工事、総事業費五、〇二五万円、建築面積三八八・三三平方m。



巡回行政相談は7月12日午前10時～午後4時、町役場会議室で。